

京都市告示第 194 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する  
条例に基づき、令和 5 年 10 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの期間におけ  
る本市公営企業の業務状況を次のとおり公表します。

令和 6 年 6 月 7 日

京都市長 松 井 孝 治

## 令和5年度後期京都市自動車運送事業業務状況

### 1 事業概況

当期の一日平均旅客数は、333千人となり、前年度同期に比べ11千人（3.5%）の増加となりましたが、令和元年度比では、▲6千人（▲2.6%）の減少となりました。

当期旅客収入は10,927百万円となり、前年度同期に比べ842百万円（8.4%）の増加となり、令和元年度比では690百万円（6.7%）の増加となりました。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行したことにより、通勤・通学の御利用が戻ってきたことや、外国人旅行者をはじめとする観光客の増加などにより、お客様数は一定の回復傾向が見られるものの、コロナ禍前には及ばない状況です。

また、お客様サービス向上と増収・増客のため、以下の取組を実施しました。

- 秋の観光シーズンをはじめとした、多客時における市バス臨時増発や市バスから地下鉄への無料振替、案内活動の実施
- 鉄道駅と主な観光地を結ぶ臨時バス「楽洛ライン」の運行
- 京都市バスの運行情報（静的情報）のオープンデータ化

5年度10～3月 一日平均旅客数(自動車)

(単位:千人)

	元年度	4年度	5年度			
			対元年度増減率 ※1	対元年度増減率 ※1	対4年度増減率	
10月	365	314	▲15.3%	341	▲7.5%	8.6%
11月	394	351	▲11.7%	363	▲8.0%	3.6%
12月	343	316	▲11.3%	327	▲7.6%	3.7%
1月	337	299	▲12.3%	303	▲10.7%	1.4%
2月※2	356	317	▲10.6%	326	▲8.3%	2.8%
3月※2	360	334	▲7.4%	339	▲5.8%	1.3%
10～3月累計 ※3	339	322	▲6.8%	333	▲2.6%	3.5%

※1 元年度比は、「定期旅客数の計上方法の見直し」による影響を補正しているため、表中のお客様数の減少率とは合いません。

※2 10月～1月までは令和元年度、2月～3月は平成30年度の数値です。

※3 10月～3月累計は、令和元年度の累計です。

(参考1) 運輸成績

〔 令和5年10月1日から  
令和6年3月31日まで 〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	182	1	0.5%
営業キロ数 (km)	322.0	321.9	0.1	0.0%
在籍車両数 (両)	810	801	9	1.1%
使用車両数 (両)	125,828 (688)	124,712 (685)	1,116 (3)	0.9% (0.4%)
走行キロ数 (km)	14,857,201 (81,187)	14,822,946 (81,445)	34,255 (△ 258)	0.2% (△ 0.3%)
旅客数 (人)	60,961,519 (333,123)	58,552,272 (321,716)	2,409,247 (11,407)	4.1% (3.5%)
旅客収入 (千円)	10,926,669 (59,709)	10,084,236 (55,408)	842,433 (4,301)	8.4% (7.8%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものです。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の( )内は、1日平均の数値です。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

( 令和5年10月1日から  
令和6年3月31日まで )

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	12,529,906	自動車運送事業収益	11,969,751
営業費用	11,723,403	営業収益	11,379,570
保 存 費	1,166,681	運 送 収 益	11,039,067
運 転 費	5,779,865	そ の 他	340,503
管 理 費	3,919,669	営業外収益	590,181
減 価 償 却 費	857,188	他会計負担金	83,482
営業外費用	806,503	他会計補助金	353,933
支 払 利 息	11,579	国庫補助金	33,088
雑 支 出	794,924	長期前受金戻入	90,319
		そ の 他	29,359
		当期純損失	560,155
合 計	12,529,906	合 計	12,529,906

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	23,765,520	固 定 負 債	10,715,783
有形固定資産	21,932,536	企 業 債	6,869,131
無形固定資産	83,926	引 当 金	3,846,652
建設仮勘定	548,058	流 動 負 債	5,838,136
投資その他の資産	1,201,000	企 業 債	1,466,231
流 動 資 産	6,551,164	未 払 金	2,754,211
現金預金	164,733	預 り 金	199,027
未 収 金	2,723,136	前 受 金	791,240
貯 蔵 品	63,295	引 当 金	627,427
貸 付 金	3,600,000	繰 延 収 益	1,765,730
		長期前受金	1,765,730
		資 本 金	11,075,549
		資 本 金	11,075,549
		剰 余 金 (欠 損 金)	921,486
		資 本 剰 余 金	753,577
		剰 余 金	167,909
合 計	30,316,684	合 計	30,316,684

備 考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、314億1511万円です。

2 長期前受金収益化累計額は、58億8360万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債等の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	6,385,371	1,798,000	730,009	7,453,362
特別減収対策企業債	882,000	0	0	882,000
合 計	7,267,371	1,798,000	730,009	8,335,362

## 令和5年度後期京都市高速鉄道事業業務状況

### 1 事業概況

当期の一日平均旅客数は、390千人となり、前年度同期に比べ31千人（8.6%）の増加となり、令和元年度比では、5千人（1.2%）の増加となりました。

当期旅客収入は14,018百万円となり、前年度同期に比べ1,311百万円（10.3%）の増加となりましたが、令和元年度比では、487百万円（▲3.6%）の増加となりました。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行したことにより、通勤・通学の御利用が戻ってきたことや、外国人旅行者をはじめとする観光客の増加などにより、お客様数は一定の回復傾向が見られるものの、コロナ禍前には及ばない状況です。

また、お客様サービス向上と増収・増客のため、以下の取組を実施しました。

- 秋の観光シーズンをはじめとした、多客時における地下鉄の臨時増発や市バスから地下鉄への無料振替
- 烏丸線における列車案内表示器の更新及び改札口付近への新設
- 地下鉄全駅や案内所への多言語翻訳機の導入

5年度10月～3月 一日平均旅客数(地下鉄)

(単位:千人)

	元年度	4年度	5年度			
			対元年度増減率 ※1	対元年度増減率 ※1	対4年度増減率	
10月	417	359	▲11.8%	402	▲0.9%	11.8%
11月	447	390	▲13.5%	429	▲4.7%	10.0%
12月	395	364	▲11.6%	400	▲2.5%	10.0%
1月	375	332	▲13.5%	354	▲7.7%	6.4%
2月 ※2	392	346	▲10.9%	375	▲4.6%	8.4%
3月 ※2	385	363	▲4.5%	380	▲1.9%	4.8%
10～3月累計 ※3	385	359	▲11.0%	390	1.2%	8.6%

※1 元年度比は、「定期旅客数の計上方法の見直し」による影響を補正しているため、表中のお客様数の減少率とは合いません。

※2 10月～1月までは令和元年度、2月～3月は平成30年度の数値です。

※3 10月～3月累計は、令和元年度の累計です。

## (参考1) 運輸成績

〔 令和5年10月1日から  
令和6年3月31日まで 〕

区 分	当 期	前年同期	増 減	増減比率
営業日数 (日)	183	182	1	0.5%
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	44,468	44,170	298	0.7%
	(243)	(243)	-	-
走行キロ数 (km)	10,178,018	10,234,068	△ 56,050	△ 0.5%
	(55,618)	(56,231)	(△ 613)	(△ 1.1%)
旅 客 数 (人)	71,362,793	65,350,780	6,012,013	9.2%
	(389,961)	(359,070)	(30,891)	(8.6%)
旅客収入 (千円)	14,017,521	12,706,983	1,310,538	10.3%
	(76,598)	(69,819)	(6,779)	(9.7%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものです。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の( )内は、1日平均の数値です。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含みます。



## 2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

( 令和5年10月1日から  
令和6年3月31日まで )

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	18,919,544	高速鉄道事業収益	17,998,914
営業費用	16,036,077	営業収益	15,273,363
保存費	3,545,586	運輸収益	14,059,634
運転費	1,586,458	その他	1,213,729
運輸費	2,201,378	営業外収益	2,725,551
管理費	1,589,619	他会計補助金	1,212,757
減価償却費	7,113,036	国庫補助金	1,416
営業外費用	2,883,467	府補助金	10,113
支払利息	1,426,781	長期前受金戻入額	1,494,208
雑支出	1,456,686	雑収益	7,057
		当年度純損失	920,630
合 計	18,919,544	合計	18,919,544

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	412,444,249	固 定 負 債	300,119,116
有形固定資産	410,405,462	企 業 債	274,630,236
無形固定資産	128,990	他会計借入金	20,585,180
建設仮勘定	1,854,197	府借入金	705,642
投資その他の資産	55,600	引 当 金	4,198,058
流 動 資 産	2,746,908	流 動 負 債	60,722,222
現金預金	508,284	企 業 債	27,475,389
未 収 金	2,220,279	他会計借入金	1,455,160
貯 蔵 品	18,311	府借入金	229,842
前払費用	34	一時借入金	22,600,000
繰 延 勘 定	10,455	未 払 金	6,707,943
企業債発行差金	10,455	預 り 金	538,155
		前 受 金	1,161,061
		仮 受 金	136,826
		引 当 金	416,607
		リ ー ス 債 務	1,239
		繰 延 収 益	98,577,260
		長期前受金	98,577,260
		資 本 金	257,440,881
		資 本 金	257,440,881
		剰余金(欠損金)	△ 301,657,867
		資 本 剰 余 金	8,535,599
合 計	415,201,612	合 計	415,201,612

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,646億9,942万円です。

備考2 長期前受金の収益化累計額は、1,176億7,318万円です。

備考3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	103,256,438	4,633,000	5,532,652	102,356,786
特 例 債	14,753,433	1,123,000	926,266	14,950,167
資本費負担緩和 分 企 業 債	59,612,771	0	1,070,839	58,541,932
資本費平準化債	112,737,420	3,897,000	3,270,680	113,363,740
特別減収対策 企 業 債	12,893,000	0	0	12,893,000
長期借入金	23,693,325	0	717,501	22,975,824
合 計	326,946,387	9,653,000	11,517,938	325,081,449

#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は226億円です。

## 令和5年度後期京都市水道事業業務状況

### 1 事業の概況

#### (1) 概況

当期有収水量は、前年度同期（7,950万立方メートル）に比べ62万立方メートル（0.8パーセント）増加し、8,012万立方メートルとなりました。

当期給水収益は、前年度同期（144億6,137万円）に比べ2億63万円（1.4パーセント）増加し、146億6,200万円となりました。また、当期総収益は、178億2,053万円となり、一方、当期総費用は、172億2,343万円となりました。

建設改良事業について、浄水場では、新山科浄水場導水トンネル築造工事、蹴上浄水場粉末活性炭注入設備設置工事、松ヶ崎浄水場粉末活性炭接触池築造工事等を施工しました。管路では、幹線配水管の布設及び布設替え（延長4.6キロメートル）、支線及び補助配水管の布設及び布設替え（延長53.7キロメートル）等を施工しました。

(2) 前年度実績との比較

令和5年度の実績を前年度と比べると、次のとおりです。

項目	単位	令和5年度	令和4年度	増減比率(%)
使用者数	件	803,409	796,784	0.83
年間給水量	m <sup>3</sup>	175,003,045	173,789,546	0.70
年間有収水量	m <sup>3</sup>	160,439,708	159,660,197	0.49
有収率	%	91.7	91.9	△ 0.2
1日平均給水量	m <sup>3</sup>	478,150	476,136	0.42
1日最大給水量	m <sup>3</sup>	505,484	531,054	△ 4.81
1日平均有収水量	m <sup>3</sup>	438,360	437,425	0.21
使用電力量	kwh	23,891,214	23,920,251	△ 0.1
次亜塩素酸注入量	m <sup>3</sup>	1,900	1,819	4.5
水道料金	千円	26,643,771	26,319,109	1.2
総収益	千円	32,277,804	31,375,482	2.88
総費用	千円	29,561,620	27,808,845	6.30

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(令和5年10月1日から令和6年3月31日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水道事業費用	17,223,428	水道事業収益	17,820,532
営業費用	13,172,433	営業収益	15,699,088
原水費	513,598	給水収益	14,661,995
浄水費	1,409,714	他会計負担金	41,139
配水及び給水費	2,320,492	その他営業収益	995,954
業務費	872,138		
総係費	943,374	営業外収益	1,930,580
減価償却費	6,557,144	受取利息	1,172
資産減耗費	555,973	他会計負担金	666,542
		国庫補助金	22,806
		長期前受金戻入益	1,095,438
		雑収益	144,622
営業外費用	1,866,238		
支払利息及び 企業債取扱諸費	735,992	特別利益	190,864
雑支出	3,008	その他特別利益	190,864
雑損失	7,153		
消費税及び 地方消費税	1,120,085		
特別損失	2,184,757		
減損損失	2,184,757		
当期純利益	597,104		
合 計	17,820,532	合 計	17,820,532

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	344,242,318	固定負債	148,572,254
有形固定資産	336,282,165	企業債	140,114,877
無形固定資産	1,328,015	P F I 債務	2,744,725
投資その他の資産	6,632,138	リース債務	328,072
		引当金	5,384,580
流動資産	16,788,169	流動負債	24,083,560
現金預金	8,785,360	企業債	13,999,574
未収金	5,432,598	P F I 債務	177,712
貯蔵品	570,429	リース債務	181,835
保管有価証券	354,080	未払金	6,667,905
前払金	1,645,583	未払費用	104,755
未収収益	119	前受金	380,336
		預り金	1,783,014
		預り有価証券	354,080
		引当金	434,349
		繰延収益	38,491,121
		長期前受金	38,491,121
		資本金	138,371,389
		剰余金	11,512,163
		資本剰余金	5,661,634
		利益剰余金	5,850,529
合計	361,030,487	合計	361,030,487

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,965億8,713万円です。

2 長期前受金の収益化累計額は、562億9,379万円です。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(令和6年3月31日現在)

区 分	期首未償還額	当 期 借 入 額	当 期 償 還 額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建 設 企 業 債	150,421,781	12,800,000	9,107,330	154,114,451
合 計	150,421,781	12,800,000	9,107,330	154,114,451

(2) 一時借入金の状況

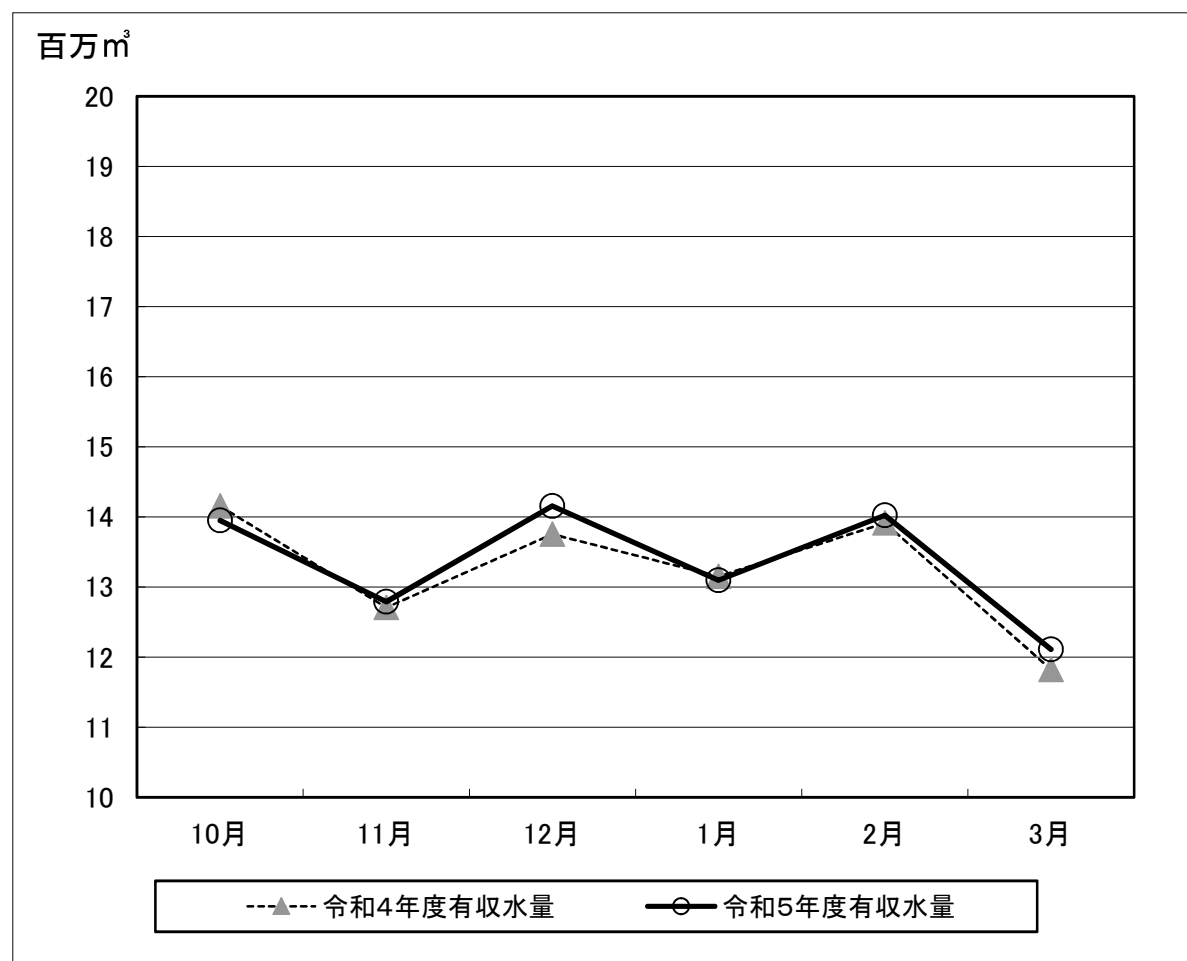
当期末現在の一時借入金は、ありません。



(3) 有収水量

当期における有収水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収水量
令和	m <sup>3</sup>
5年 10月	13,949,382
〃 11月	12,790,609
〃 12月	14,156,535
6年 1月	13,094,969
〃 2月	14,022,444
〃 3月	12,110,984
合計	80,124,923
1日平均	440,247
前年同期1日平均	436,809



## 令和5年度後期京都市公共下水道事業業務状況

### 1 事業の概況

#### (1) 概況

当期有収汚水量は、前年度同期（8,565万立方メートル）に比べ36万立方メートル（0.4パーセント）増加し、8,601万立方メートルとなりました。

当期下水道使用料は、前年度同期（113億5,457万円）に比べ6,710万円（0.6パーセント）増加し、114億2,167万円となりました。また、当期総収益は、249億4,859万円となり、一方、当期総費用は、232億1,249万円となりました。

建設改良事業について、管きよでは、鳥羽第3導水きよ、烏丸丸太町幹線等の整備を継続実施するとともに、津知橋幹線、東大路幹線接続支線の整備を完了しました。

終末処理場では、鳥羽水環境保全センター流動炉延命化工事等を継続実施するとともに、鳥羽水環境保全センター消毒施設改築更新工事、伏見水環境保全センター自家発電設備工事等を完了しました。

(2) 前年度実績との比較

令和5年度の実績を前年度と比べると、次のとおりです。

項目	単位	令和5年度	令和4年度	増減比率(%)
整備区域	ha	15,629	15,620	0.06
年間流入下水道量	m <sup>3</sup>	288,419,676	278,351,512	3.62
年間有収汚水量	m <sup>3</sup>	172,349,618	171,701,670	0.38
1日平均流入下水道量	m <sup>3</sup>	788,032	762,610	3.33
1日最大流入下水道量	m <sup>3</sup>	3,660,909	3,444,561	6.28
1日平均有収汚水量	m <sup>3</sup>	470,901	470,416	0.10
年間下水処理量	m <sup>3</sup>	288,453,156	280,647,242	2.78
使用電力量	kwh	81,350,385	82,226,124	△ 1.07
整備管渠延長	m	4,243,401	4,237,258	0.14
下水道使用給水装置数	件	568,160	564,862	0.58
下水道使用料	千円	20,719,548	20,492,388	1.11
総収益	千円	47,755,100	47,459,846	0.62
総費用	千円	45,089,002	44,055,943	2.34

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(令和5年10月1日から令和6年3月31日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公共下水道事業費用	23,219,503	公共下水道事業収益	24,955,605
事業費用	20,056,826	事業収益	20,863,525
下水道維持費	707,591	下水道使用料	11,421,672
下水処理費	4,012,412	他会計負担金	9,040,456
業務費	658,278	その他事業収益	401,397
水洗便所普及 対策費	16,326		
総係費	671,670	事業外収益	4,092,080
減価償却費	13,437,691	受取利息	624
資産減耗費	552,859	他会計負担金	395,403
		国庫補助金	2,187
事業外費用	2,163,180	府補助金	585
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,460,359	長期前受金 戻入益	3,693,281
雑支出	15,559		
消費税及び 地方消費税	687,262		
特別損失	999,497		
減損損失	999,497		
当期純利益	1,736,102		
合 計	24,955,605	合 計	24,955,605

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	653,093,788	固 定 負 債	231,793,518
有形固定資産	645,971,725	企 業 債	223,387,054
無形固定資産	5,643,889	企 業 債 償 還 金	2,562,669
投 資 資 産	1,478,174	積 立	
その他の資産		P F I 債 務	2,744,725
流 動 資 産	16,227,759	リ ー ス 債 務	217,658
現 金 預 金	12,308,188	引 当 金	2,881,412
未 収 金	2,934,819	流 動 負 債	23,486,181
貯 蔵 品	15,179	企 業 債	16,460,843
保管有価証券	100,000	企 業 債 償 還 金	240,000
前 払 金	869,519	積 立	
未 収 収 益	54	P F I 債 務	177,712
		リ ー ス 債 務	105,202
		未 払 金	5,526,173
		未 払 費 用	172,532
		前 受 金	239,951
		預 り 金	134,975
		預 り 有 価 証 券	100,000
		引 当 金	328,793
		繰 延 収 益	151,637,324
		長 期 前 受 金	151,637,324
		資 本 金	245,315,098
		剰 余 金	17,089,426
		資 本 剰 余 金	8,214,229
		利 益 剰 余 金	8,875,197
合 計	669,321,547	合 計	669,321,547

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、7,970億8,211万円です。

2 長期前受金の収益化累計額は、2,250億853万円です。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(令和6年3月31日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	226,955,384	11,951,000	11,457,165	227,449,219
資本費 平準化債	15,215,143	0	13,796	15,201,347
合 計	242,170,527	11,951,000	11,470,961	242,650,566

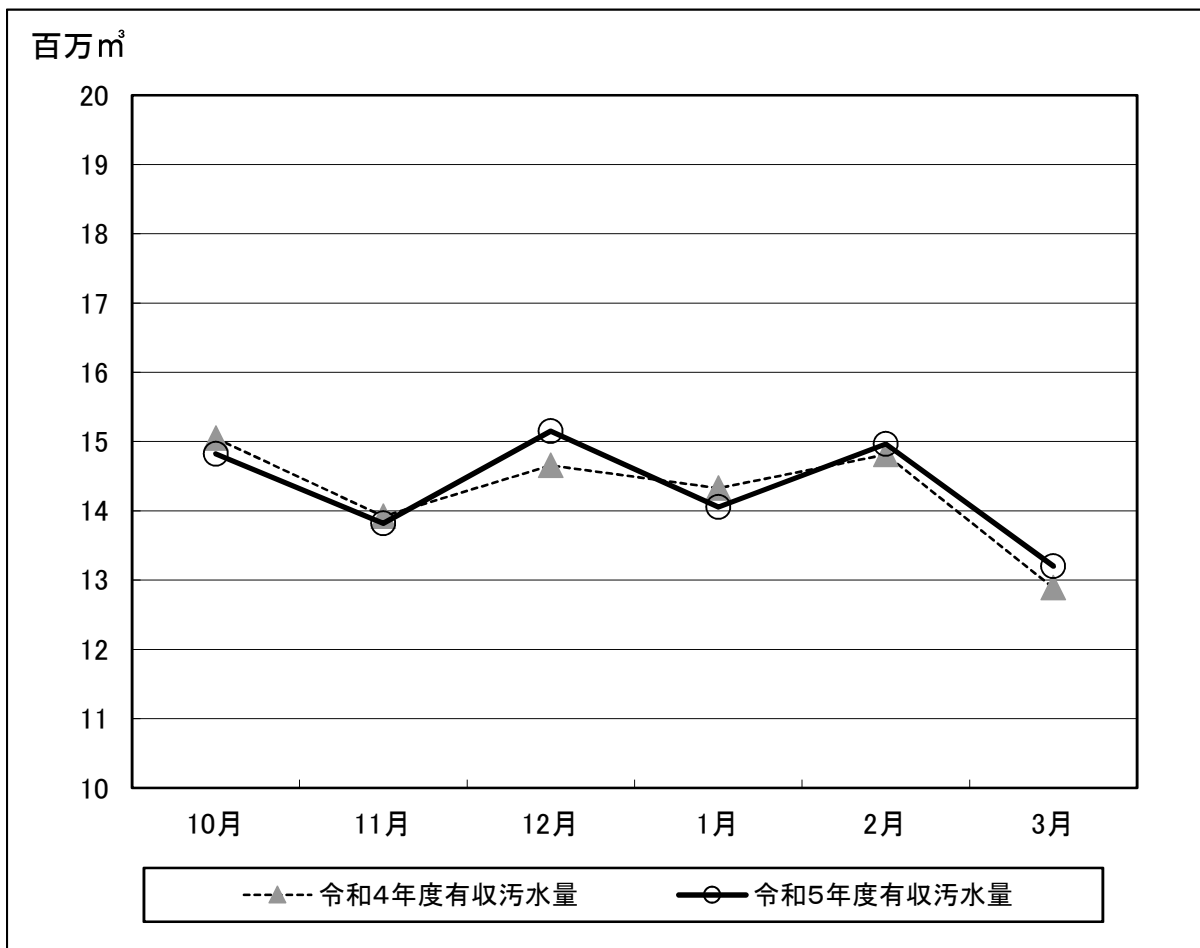
#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収汚水量
令和	m <sup>3</sup>
5年 10月	14,823,216
〃 11月	13,818,266
〃 12月	15,149,563
6年 1月	14,053,443
〃 2月	14,966,026
〃 3月	13,202,027
合計	86,012,541
1日平均	472,596
前年同期1日平均	470,620



(行財政局総務部総務課)